

病院長への手紙に対する回答 (R6.5.20回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
9659	総合病院では詳細に調べていただけなかった。別の病院でがんセンターに紹介していただいた。がんセンターの主治医は血液担当であり独自の方法により、検査の連続で徹底的に調べていただいた。看護師の皆さん昼夜かかさず、前任者からの伝言等ワンチームで仕事に従事しているようです。	お手紙ありがとうございました。
9660	駐車場入口に警備員がいるが、障がい者駐車場に一般の人が駐車しないよう、そこにも警備員を配置してほしい。来院する度に見ているが半分は障がいでない人が駐車している。	この度はご不便をおかけして申し訳ございません。警備員の増員は困難な状況ではございますが、この駐車場を必要としている方が適切に使用できるようポスターの掲示や表示を行うなど、普及啓発に努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。
9661	保険会社へ提出する書類の作成に時間がかかりすぎる。	この度はご不便をおかけして申し訳ございません。診断書の作成依頼が増えているため非常にお待たせしてしまう状況となっております。対応人員を増員しましたので、今しばらくお時間を頂ければと存じます。
9662	<p>①手術前の制限について、本人に伝わっていない、説明内容が変わり制限のぎりぎりの時間に伝わることは問題であると思う。</p> <p>②手術後の患者の状況について、病棟の看護師に確認したところ状況が異なっていた。分からないことははっきり分からないと答えてくれれば理解するが、すごく振り回されている感じがし、部署間の連携をとって欲しいと思った。</p> <p>③看護師と家族とのやり取りについての謝罪を、何も知らない患者本人にしていた。このことで患者と家族の関係性がどうなるかは考えていない。謝罪をするなら家族にして欲しかった。</p> <p>④術後、酸素の根元が外れていた。入室時に確認をしないのか。</p> <p>⑤肝・大腸同時切除に対するクリニカルパスを作成すればよいと思った。</p> <p>⑥食事量を患者自身が調節するのは高齢患者などには難しいのではないかと？食事の内容が分かりにくかった。</p> <p>⑦痛み止めを繋げたらつなげっぱなし、痛み止めの使用の評価はしないのか。痛み止めは痛いから使用するのではなく、痛みが出ないように使用するのではないのか。</p> <p>すべてが急に変わることができないこともわかっているが、正しい情報を伝える、手術前・後の急性期にあたる整え、介入については本人・家族を含めしっかり行って頂きたい。</p>	<p>①～⑤、⑦この度は不快な思いにさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。</p> <p>入院や手術のことなど、様々な不安があったと思います。その中で医療者は少しでも安心できるよう、正しい情報を伝える、チーム内で情報共有を行い、統一した対応を行うことが必要であると考えます。また、病気だけではなく、患者さんやご家族の心に寄り添えるような関りが重要であり、そのような関りができるよう努力してまいりたいと思います。</p> <p>この度は、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>⑥入院中の食事は医師の指示により、病状にあわせて食事の種類や形態、栄養補助食品の有無等が選ばれています。更に、術後や化学療法など治療や体調に合わせて食事量の調節やゆっくり食べて頂くことなど、お声がけさせて頂いています。</p> <p>メニューを食札に表記するスペースがとれず申し訳ありません。1週間のメニューは、病棟内に掲示させて頂いておりますが、印刷してお渡することも可能ですので、ご希望がございましたら、病棟看護師におっしゃって下さい。</p>